

## 研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名：音楽を用いた創造・交流活動を支援する聴空間共有システムの開発

2. 研究代表者：伊勢 史郎（東京電機大学情報環境学部 教授）

### 3. 中間評価結果

本研究は、境界音場制御の原理に基づく3次元音場伝送方式を用いてインターネットを介した聴空間共有システムを実現することを目的としている。「聴空間共有システム:複数の BoSC システム(境界音場制御の原理に基づいた音場再現システム)をインターネット接続し、複数名の音楽職人が音場を共有しながら音楽創造を可能とする聴空間共有システムを開発する」とした当初計画は音響樽という形で実現され、プロの演奏家によるアンサンブル実験が行われ、また、物理面、心理面での評価も行われたという点で順調に研究が進んでいると言える。柏野チームとの連携による音声コミュニケーションにおけるリアリティの効果を測るための心理・生理指標の導入は評価できる。一方、3 個以上の音響樽での同時演奏について見通しが得られていないという点で成果は限定的である。技術レベルも世界でトップであるので、もっと積極的に海外へ成果を発表した方が良い。「ユーザーの満足度やリアリティ感」といった受動的な評価だけでなく、相互作用的な人間との調和を期間内に自らの手で立証するための方法論を提示して欲しい。3 個以上の音響樽での同時演奏について見通しが得られるところまでは進めてほしい。